

P1-056

発達早期支援に保護者が求めるソーシャルワーク機能に関する研究

佐々木 沙和子

明星大学大学院 教育学研究科

【目的】

発達が気になる乳幼児を養育する保護者への支援体制を整えていく動きが進められている。支援の一つとして、家族や地域、社会を取り巻く環境を含めたソーシャルワークの機能を展開していくことが必要ではないかと考えた。また、対象者が抱えている無意識の潜在的なニーズについても、ソーシャルワーク機能によって掘り起こすことが必要ではないかと考えた。本研究では、発達が気になる子を養育している保護者が求めているソーシャルワークの機能について明らかにする。

【方法】

児童発達支援事業を利用する2～5歳の子どもの保護者7名を対象に「求めている支援」について半構造化インタビューを行った。そのデータをSCAT法で分析を行い、保護者が求めているニーズに関する話題の部分丁寧読み解き、ストーリーラインを作成した。また、そこから抽出された保護者のニーズに対応するソーシャルワークの機能について、日本社会福祉実践理論学会ソーシャルワーク研究会(1999)による「ソーシャルワークの機能と役割」を用いて分類を行った。なお、本研究については、明星大学研究倫理委員会の審査を受け、承認済みである。

【結果】

インタビューを実施した全ての保護者が、何らかのソーシャルワーク機能に対応するニーズについて認識していることがわかった。多くの保護者が求めているソーシャルワーク機能は「仲介機能」「直接援助機能」「治療機能」「ケースマネージャー機能」であった。さらに、SCAT法の分析により、同じフレーズを繰り返す傾向が見られる部分を抽出したところ、保護者自身への支援が潜在的ニーズとして存在することがわかった。このような潜在的ニーズを含めたストーリーラインを作成したところ、特に親子が安心して遊べる環境づくりを求めていることが抽出された。

【考察】

子どもへの直接的な支援や、社会資源との仲介役などを求める声も多いが、特に保護者が具体的に求めていることは、地域で子どもや親を含めた家族が安心して暮らしている環境や居場所であることが明らかとなった。この結果から、親子が安心して遊び、子どもの成長をゆっくりと見守ることができる環境や居場所作りといった取り組みが、今後求められてくるといえる。

P1-057

アトピー性皮膚炎患児へのスキンケア指導～自閉症の特性を踏まえた教育効果～

岡田 結華

医療法人 真美会 中野こども病院

【はじめに】

幼児期からアトピー性皮膚炎で通院していたが、症状が悪化し入院した自閉症女児を受け持った。言語でのコミュニケーションが困難であったため、児のコミュニケーション力に応じた関わりを行った。その結果、入浴時の洗浄方法や軟膏療法の自己管理が可能となり、退院後、通院につながる事ができたため報告する。

【事例紹介】

9歳6か月 女児 入院期間：7日間 4歳で自閉症スペクトラムと診断

【看護の実際】

入院1日目、児の全身の皮膚は掻痒感が強く、顔面や関節部は浸出液や出血があり、ベッドや床に落屑が散在している状態であった。声を掛けても返答はなく、周囲の物音に敏感に反応し、表情が変わらなかった事から、入院環境適応や自己の気持ちを表出することが困難であると考えた。受け持ち看護師を決め、看護師の対応を統一し、積極的にスキんシップをとり、夜間は入眠するまで付き添う事でコミュニケーションを図った。入院3日目、スキンケアの自立に向けての関わりを検討する為に医師、心理士、保育士、薬剤師、アレルギー外来担当看護師とカンファレンスを実施した。自宅での生活に合わせ、児の意見を聞きながら日課表を作成した。保育士と協力し、学習と遊びの時間を取り入れた。スキンケアとしては1日2回定時に入浴と軟膏処置を行い、洗浄方法や軟膏の塗り方を指導し、児と共に同じ方法で行った。どこに何を塗るのか混乱することがあったため、軟膏の蓋の色を目印に塗る順番を決め、体のイラストを用いて分かりやすいようにパンフレットを作成した。入院5日目、皮膚状態の改善が見られた。児は自分の顔を触って嬉しそうに笑顔をみせた。用がある時は看護師の手を引き、自分で書いた絵を見せるなど、気持ちを伝えることができるようになった。退院後、受け持ち看護師からアレルギー外来担当看護師に、児と家族へ実施した指導内容を看護サマリーで提供した。

【考察】

自閉症の特性を踏まえてパンフレットを作成し、可視化したことで、自己の疾患に関心を持ち、自主的にケアに取り組むことが出来た。また、スキんシップを取り入れた関わりや他職種と連携したことで児が入院生活を受け入れることができ、スキンケアに対する管理能力向上に繋がった。信頼関係を築けたことで退院後、安心して通院できる環境をつくる事ができた。